

テーマ21 決算の手続き (VI)

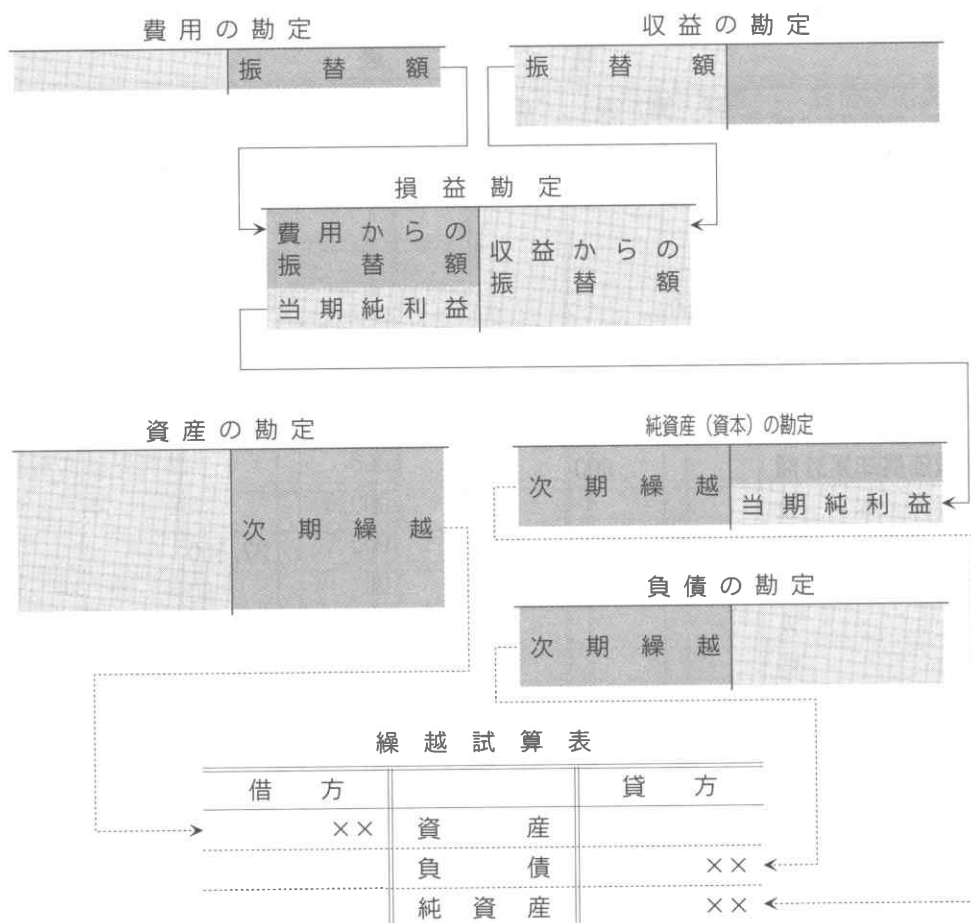
ここでは、5要素に属するすべての勘定について、その締め切り方と財務諸表の作成を学習します。

1

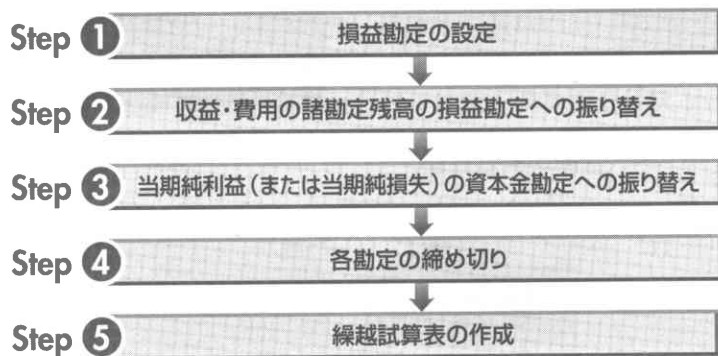
勘定の締め切り

決算整理によって、5要素に属する勘定の記録が正しくなれば、勘定残高をゼロにして当期と次期の区切りをつける必要があります。この手続きを締め切りといい、ここでは、勘定の締め切りについて説明します。

これを勘定の流れで示すと、次のような図になります。



勘定の締め切りの流れは次のようになります。



Step① 損益勘定の設定

純損益を計算するために、帳簿に新たな科目、**損益勘定**を設けます。

損	益

Step② 収益・費用の諸勘定残高の損益勘定への振り替え

損益勘定を設定したのち、この勘定の貸方に収益の勘定残高を、借方に費用の勘定残高を振り替えて純損益を計算します。

なお、このとき行われる仕訳を**決算振替仕訳**といいます。「振り替え」とは、ある勘定の金額を他の勘定へ移動させる手続きをいい、次の2つのパターンがあります。

パターン1 借方から借方への振り替え

Aの借方120円をBの借方へ振り替えてみましょう。

A		B
120 ①	120 → ②	120

① Aの貸方に120を記入します。

② Bの借方に120を記入します。

(B)	120	(A)	120
-------	-----	-------	-----

パターン2 貸方から貸方への振り替え

Cの貸方150円をBの貸方へ振り替えてみましょう。

B		C
②	150 ← ①	150 150

① Cの借方に150を記入します。

② Bの貸方に150を記入します。

(C)	150	(B)	150
-------	-----	-------	-----

費用の勘定	
120	120

収益の勘定	
150	150

(2)	↓	損	益	(1)
		費用	収益	
		120	150	
		純利益30 {		

(1) 収益の振り替え（パターン2に該当）

収益の勘定の借方に150を記入するとともに、損益勘定の貸方に150を記入します。

(収益の勘定)	150	(損益)	150
---------	-----	------	-----

(2) 費用の振り替え（パターン1に該当）

費用の勘定の貸方に120を記入するとともに、損益勘定の借方に120を記入します。

(損益)	120	(費用の勘定)	120
------	-----	---------	-----



ここがPOINT

各勘定の残高を損益勘定に振り替えるとき、つねに同じ側に振り替えられるので注意すること。

借方残高の勘定（費用の勘定） ➡ 損益勘定の借方へ

貸方残高の勘定（収益の勘定） ➡ 損益勘定の貸方へ

Step③ 当期純利益（または当期純損失）の資本金勘定への振り替え

損益勘定の貸方には収益の勘定残高が、借方には費用の勘定残高が記入されているので、損益勘定の貸借差額は当期純損益を示すことになります。個人商店ではこれを資本金勘定に振り替えます。このとき行われる仕訳も決算振替仕訳といいます。

〈貸方残高の場合〉

損		益	
費	用	収	益
120			150
30			
(損 益) 30		(資本金) 30	
資 本 金			
		資 本 金	
		500	
		30	

〈借方残高の場合〉

損		益	
費	用	収	益
150		100	
		50	
(資本金) 50		(損 益) 50	
資 本 金			
50		資 本 金	
		500	

(1) 貸方残高の場合

損益勘定の残高が貸方に生じた場合は純利益を示し、純資産（資本）の増加を意味するので資本金勘定の貸方に振り替えます。

(損 益)	30	(資 本 金)	30
-------	----	---------	----

(2) 借方残高の場合

損益勘定の残高が借方に生じた場合は純損失を示し、純資産（資本）の減少を意味するので資本金勘定の借方に振り替えます。

(資 本 金)	50	(損 益)	50
---------	----	-------	----

基本例題 54

決算にあたり、諸勘定の決算整理後の残高は次のとおりである。よって、決算振替仕訳を示しなさい。

売 上	5,200	仕 入	3,100
受 取 利 息	600	支 払 利 息	700

Step④ 各勘定の締め切り

(1) 収益・費用の諸勘定の締め切り

これまでの決算振替仕訳を勘定に転記すれば、収益・費用の勘定と損益勘定はそれぞれ貸借が一致するので、貸借ともに合計額を同じ行に記入して締め切ります。ただし、記入した行数によって、締め切り方が異なるので注意してください。

損			益		
12/31	仕 入	3,100	12/31	売 上	5,200
"	支払利息	700	"	受取利息	600
"	資 本 金	2,000			
		5,800			5,800

(注) 損益勘定に記入する相手科目は諸口としないことに注意してください。

(2) 資産・負債・純資産（資本）の諸勘定の締め切り

資産・負債・純資産（資本）の勘定の締め切りは、学習済みなので「テーマ3」を参照してください。

Step⑤ 繰越試算表の作成

資産・負債・純資産（資本）の諸勘定は、各勘定の中で残高を繰越記入するため、残高に誤りがあるか否か、または締め切りに誤りがあるか否かは不明です。そこで、これらを検証するため、各勘定の残高（次期繰越の全額）を集計して繰越試算表を作成します。

繰 越 試 算 表

平成×1年12月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
190	現 金	
340	当 座 預 金	
390	売 掛 金	
30	繰 越 商 品	
120	備 品	
	買 掛 金	300
	減価償却累計額	40
	貸 倒 引 当 金	30
	資 本 金	700
1,070		1,070

設 例 21 - 1

決算整理後の勘定は、次のとおりである。よって、決算振替仕訳を行い、これを転記したのち各勘定を締め切りなさい。また、繰越試算表を作成しなさい。

現 金	
1/ 1 前期繰越 4,300	4/ 4 仕 入 4,300
5/ 5 売 上 5,500	6/ 6 支払利息 100

備 品	
1/ 1 前期繰越 2,700	12/31 減価償却費 500

資 本 金	
	1/ 1 前期繰越 3,500

仕 入	
4/ 4 現 金 4,300	12/31 繰越商品 800
12/31 繰越商品 400	

減 価 償 却 費	
12/31 備 品 500	

繰 越 商 品	
1/ 1 前期繰越 400	12/31 仕 入 400
12/31 仕 入 800	

借 入 金	
	1/ 1 前期繰越 3,900

売 上	
	5/ 5 現 金 5,500

支 払 利 息	
6/ 6 現 金 100	

損 益	

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
収益の振替				
費用の振替				
純損益の振替				

繰越試算表

借方	勘定科目	貸方
	現金	
	繰越商品	
	備品	
	借入金	
	資本金	

現金

1/1 前期繰越	4,300	4/4 仕入	4,300
5/5 売上	5,500	6/6 支払利息	100
		(12/31)(次期繰越)	(5,400)
	9,800		9,800
1/1 前期繰越	5,400		

備品

1/1 前期繰越	2,700	12/31 減価償却費	500
		(")(次期繰越)	(2,200)
	2,700		2,700
1/1 前期繰越	2,200		

資本金

(12/31)(次期繰越)	(4,500)	1/1 前期繰越	3,500
		12/31 損益	1,000
	4,500		4,500
		1/1 前期繰越	4,500

仕入

4/4 現金	4,300	12/31 繰越商品	800
12/31 繰越商品	400	" 損益	3,900
	4,700		4,700

減価償却費

12/31 備品	500	12/31 損益	500
----------	-----	----------	-----

繰越商品

1/1 前期繰越	400	12/31 仕入	400
12/31 仕入	800	(")(次期繰越)	(800)
	1,200		1,200
1/1 前期繰越	800		

借入金

(12/31)(次期繰越)	(3,900)	1/1 前期繰越	3,900
		1/1 前期繰越	3,900

売上

12/31 損益	5,500	5/5 現金	5,500
----------	-------	--------	-------

支払利息

6/6 現金	100	12/31 損益	100
--------	-----	----------	-----

損益

12/31 仕入	3,900	12/31 売上	5,500
" 支払利息	100		
" 減価償却費	500		
" 資本金	1,000		
	5,500		5,500

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
収益の振替	売 上	5,500	損 益	5,500
費用の振替	損 益	4,500	仕 入	3,900
			減 価 償 却 費	500
			支 払 利 息	100
純損益の振替	損 益	1,000	資 本 金	1,000

繰 越 試 算 表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
5,400	現 金	
800	繰 越 商 品	
2,200	備 品	
	借 入 金	3,900
	資 本 金	4,500
8,400		8,400

基本例題 55

商品売買関係の勘定と損益勘定、さらに決算仕訳について、() 内に必要な記入を行いなさい。

繰越商品			
1/1	前期繰越	400	12/31 () ()
12/31	() ()		" 次期繰越 () ()
	()		()
売上			
12/31	() ()	5/5	現金 5,500
仕入			
4/4	現金	4,300	12/31 () 800
12/31	() ()	"	損益 () ()
	()		()
損益			
12/31	() ()	12/31	() ()

	借方科目	金額	貸方科目	金額
決算整理仕訳	仕入	()	繰越商品	()
	繰越商品	()	仕入	()
決算振替仕訳	売上	()	損益	()
	損益	()	仕入	()

2

財務諸表の作成

すでに財務諸表には損益計算書と貸借対照表があることを述べましたが、ここで、もう一度これら2つの財務諸表を確認します。

損益計算書：一会計期間における収益・費用の発生高および当期純利益（または当期純損失）を一覧表にまとめ、企業の経営成績を明らかにするためのものです。

貸借対照表：ある一定時点（主に期末）における資産・負債および純資産（資本）の内容とその残高を一覧表にまとめ、企業の財政状態を明らかにするためのものです。

1. 損益計算書の作成

損益計算書を作成するときは、次の点に注意してください。

(1) 損益勘定をもとに作成します。

(2) 会計期間を明示します。

例：自平成×1年1月1日 至平成×1年12月31日

平成×1年1月1日から平成×1年12月31日まで

(3) 損益勘定上の売上勘定は、損益計算書上は「売上高」で表示します。

(4) 損益勘定上、売上原価は仕入勘定または売上原価勘定で計算されますが、損益計算書上は「売上原価」で表示します。

(5) 損益勘定上は利益は資本金に振り替えられるので、相手勘定である資本金勘定となりますが、損益計算書上は具体的に「当期純利益」と表示します。

損 益 計 算 書

〇〇商店 平成×1年1月1日から平成×1年12月31日まで（単位：円）

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	1,100	売 上 高	1,350
給 料	150	受 取 手 数 料	50
減 価 償 却 費	20		
貸倒引当金繰入	20		
支 払 家 賃	10		
当 期 純 利 益	100		
	1,400		1,400

なお、検定試験では当期純利益に（ ）を付けること（または太字）で朱記を表します。

2. 貸借対照表の作成

貸借対照表を作成するときは、次の点に注意してください。

(1) 繰越試算表をもとに作成します。

(2) 決算日を明示します。

例：平成×1年12月31日

(3) 在庫を表す勘定科目は帳簿上、繰越商品ですが、貸借対照表上はより具体的な名称である「商品」で表示します。

(4) 帳簿上では当期純利益は資本金勘定に振り替えられますが、貸借対照表上は、決算整理前の資本金と1年間の成果としてのもうけ（当期純利益）とを区別して表示します。

(5) 貸倒引当金や減価償却累計額は資産から控除する形で表示します。ただし、試験問題などでは貸方側に表示される場合もあるので注意してください。

〇〇商店		貸 借 対 照 表 平成×1年12月31日		(単位：円)
資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額	
現 金	190	買 掛 金	300	
当 座 預 金	340	資 本 金	600	
売 掛 金 390		当 期 純 利 益	100	
貸 倒 引 当 金 30	360			
商 品	30			
備 品 120				
減価償却累計額 40	80			
	1,000			1,000



ナポレオンの功罪

ナポレオンは民法、憲法などを改正した後も、その法律改正に対する熱意は高く、「商事法典」を制定し、その中で財産一覧を1年ごとに作成することを義務づけています。

これは債権者の保護を目的として定められたものとされており、当時は共同企業が増えるにつれ、株主グループと債権者グループとの争いが絶えず、さらに倒産、経営者の詐欺行為や財産隠匿などが続発したため、企業の財産の確保が債権者の保護につながるものと考えられたからです。

ナポレオンの制定した「商事法典」は、その後、各国の法律制定の規範となりました。

Coffee Break

基本例題 56

次に掲げた東京商店の決算整理後残高試算表にもとづいて、損益計算書と貸借対照表を完成しなさい。

決算整理後残高試算表

平成×2年 3 月31日

借 方 残 高	勘 定 科 目	貸 方 残 高
190	現 金	
340	当 座 預 金	
390	売 掛 金	
	貸倒引当金	30
30	繰 越 商 品	
120	備 品	
	減価償却累計額	40
	買 掛 金	300
	資 本 金	600
	売 上	1,350
	受 取 手 数 料	50
1,100	仕 入	
150	給 料	
20	減 価 償 却 費	
20	貸倒引当金繰入	
10	支 払 家 賃	
2,370		2,370

損 益 計 算 書

東京商店 平成×1年 4 月 1 日から平成 () 年 () 月 () 日まで (単位:円)

費 用	金 額	()	金 額
()	()	売 上 高	()
給 料	()	受 取 手 数 料	()
減 価 償 却 費	()		
貸倒引当金繰入	()		
支 払 家 賃	()		
()	()		
	()		()

貸 借 対 照 表				
東京商店		平成（ ）年（ ）月（ ）日		(単位：円)
資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額	
現 金	()	買 掛 金	()	
当 座 預 金	()	資 本 金	()	
売 掛 金 ()		()	()	
() ()	()			
商 品	()			
備 品 ()				
() ()	()			
	()			()

3 簿記一巡の手続き

決算をもって簿記の手続きは終わり、次期以降これを繰り返すことになります。この意味で、仕訳に始まって決算で終わる一連の手続きを簿記一巡の手続きといいます。

